

森永乳業 エンゼル 110 番

2009 年年間報告書

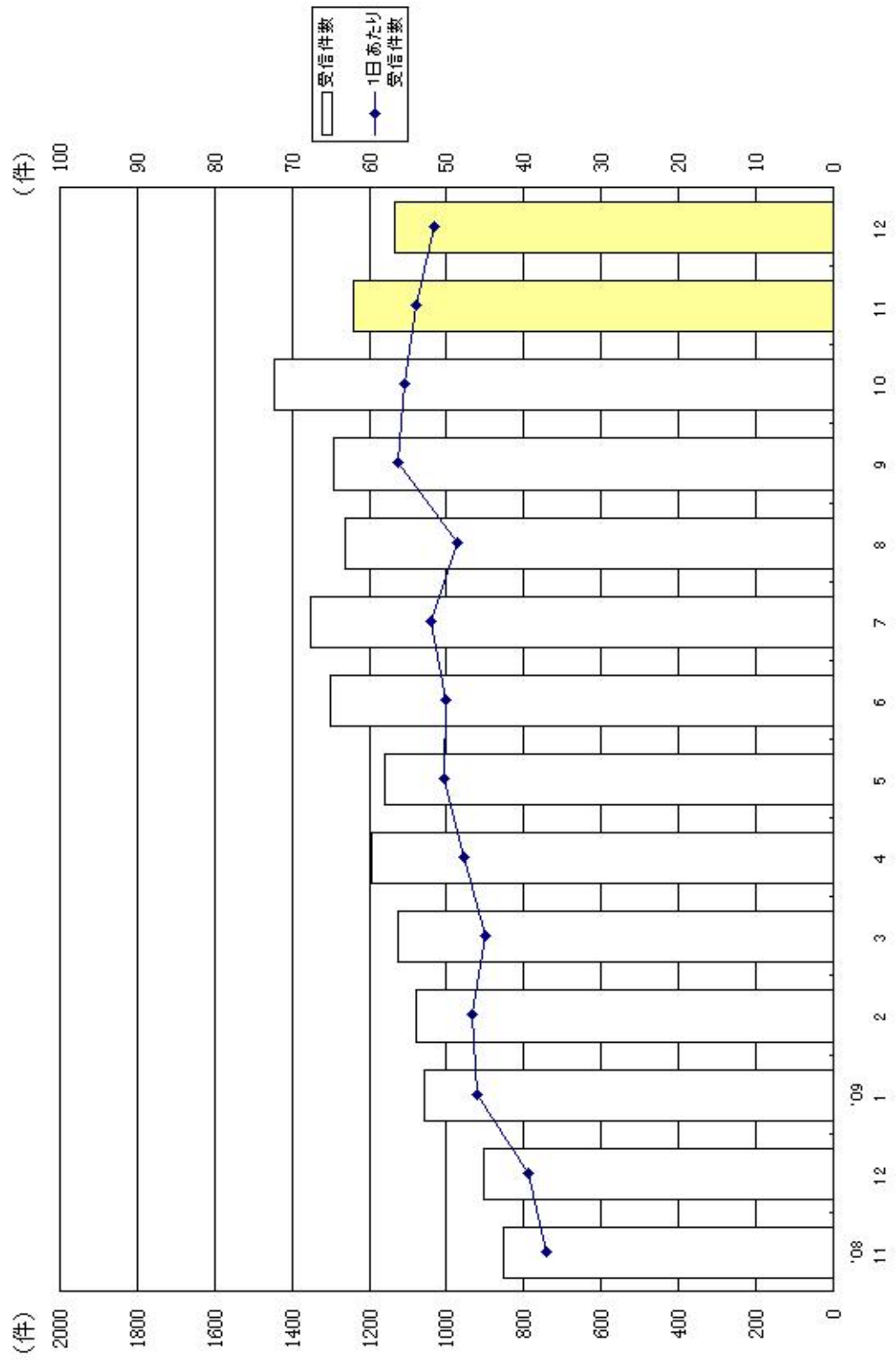
CONTENTS 2009 年 1 月～12 月

1.	エンゼル 110 番活動記録	1
2.	受信件数の年間推移	2
3.	35 年の年間統計	3
4.	子どもの月齢（年齢）別相談件数	4
5.	子どもの属性割合、相談者の属性	5
6.	相談内容の内訳 グラフ・表	6
7.	認知媒体	8
8.	商品 Q & A	9

2009年 エンゼル110番 活動記録

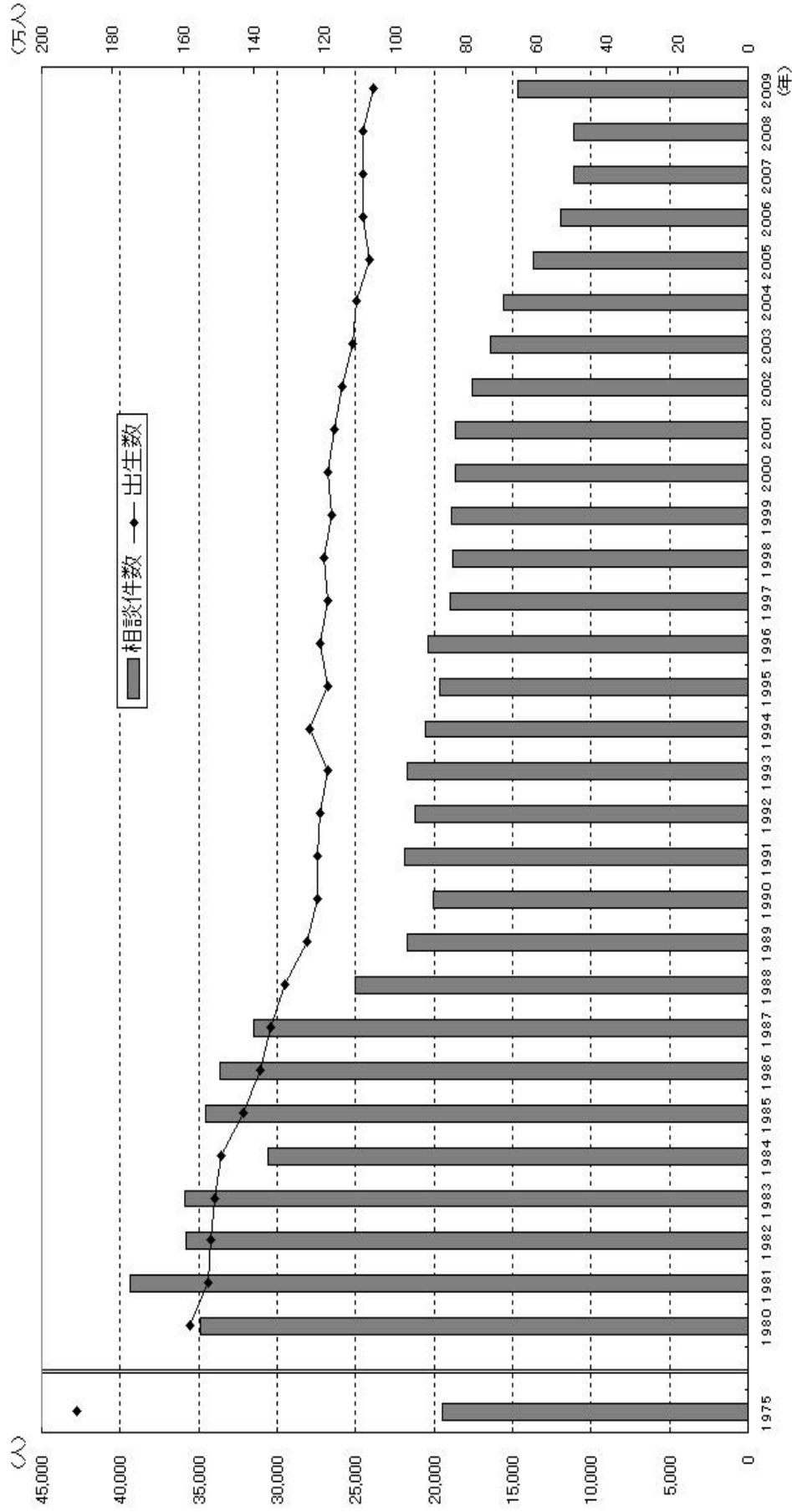
	報告会・講演会参加・特別業務など	講師派遣・取材・見学者対応	リリース発行、他
1月	21日 11・12月業務報告会		
2月	9日 健康フォーラム「新型インフルエンザ脅威と対策」参加 14日 第1回子育て・子育てセミナー参加 19日 タイヤル・サービス機電話応対基本講座参加 3月 7日 すくすくコホート公開シンポジウム「子どもたちの明日に向けて」参加 11日 1・2月業務報告会 5月 20日 3・4月業務報告会	27日 読売新聞社取材対応 2日 Yahoo!ニュースにエンゼル110番レポート Vol.1.56が掲載 22日 千葉大学看護学部学生(4名)見学対応 17日 東京支社中央・店頭栄養士会議講師派遣 16日 読売新聞取材対応 26日 千葉大学看護学部学生(6名)見学対応 25日 読売新聞社取材対応	エンゼル110番レポート Vol.1.56 「ここが困った！子連れ外出事情」発行 「育児ビギナーホットライン・・・いっしょに解決！小さな気がかり」実施レポート発行 「2008年年間統計」についてリリース エンゼル110番レポート Vol.1.57 「不知に負けない！ママの明るい節約術」発行
6月	14日 日本小児医会公開フォーラム「子育てを助け子ども達に夢と未来を」参加		
7月	15日 5・6月業務報告会		
8月			
9月	16日 7・8月業務報告会		
11月	14日 東京都小児保健協会学術講演「ふっつうの子どもとは」参加		
12月	18日 9・10月業務報告会 18日 森乳コミュニケーション欄Pマーク取得	1日 岐阜県子育てマイスターセミナー専門コース「最近の相談の特徴から」講師派遣 14日 岐阜県子育てマイスターセミナー専門コース「最近の相談の特徴から」講師派遣 18日 千葉大学看護学部学生(5名)見学対応	エンゼル110番レポート Vol.1.58 「子育て」に関するレポート発行 エンゼル110番レポート Vol.1.59 「ママ友とのおつきあい、どうしていますか？」発行

《受信件数の年間推移》



エンゼル110番2009年間統計

データ1. 出生数と相談件数の対比



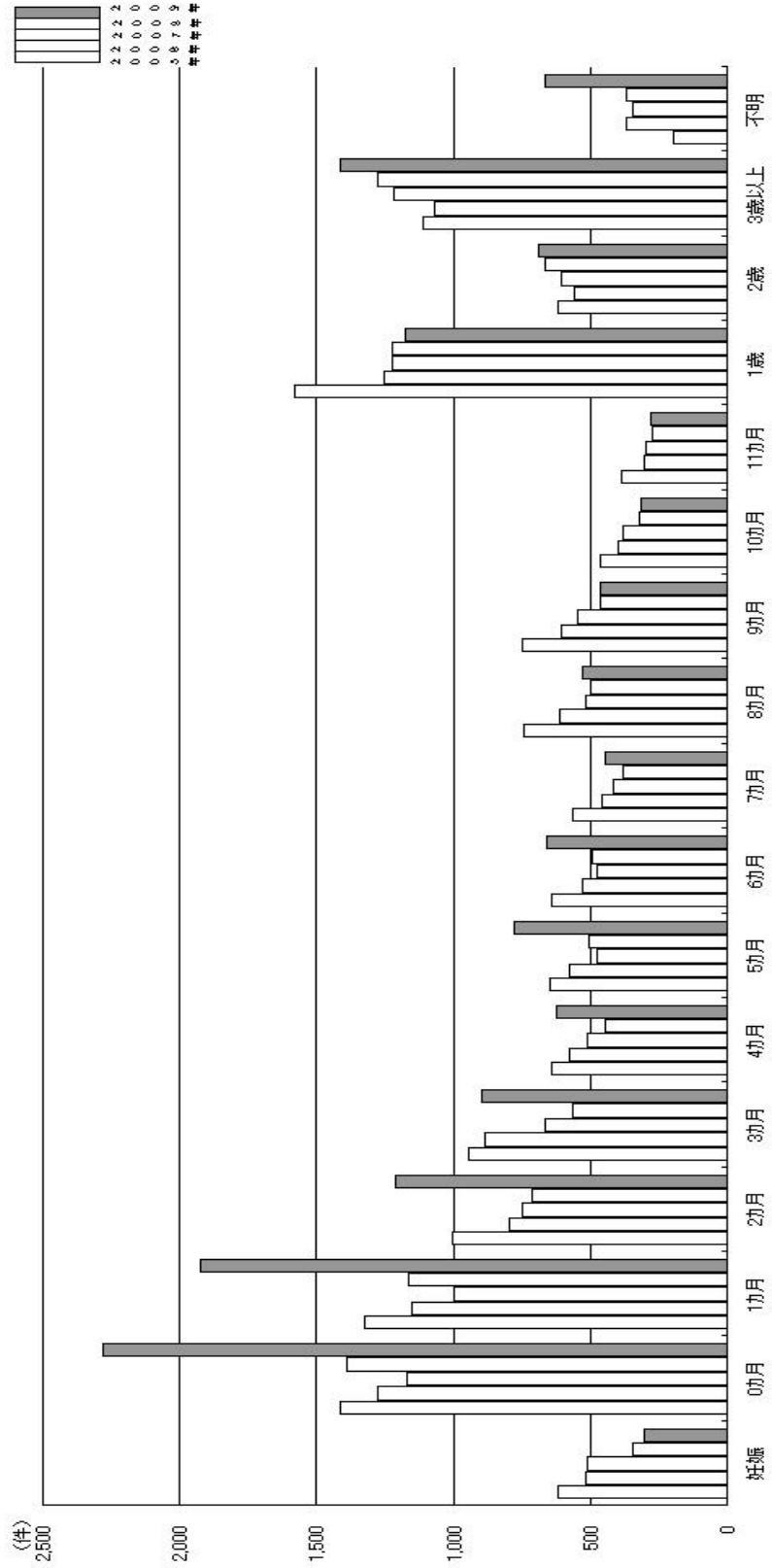
*1988年5月より電話台数は5台から4台になる。
 *開設以来の受信件数累計は2009年12月末で886,128件。2009年総受信件数は14,642件、2009年1ヵ月平均1220件、1日平均50.32件。
 *「わたしの育児日記」「しおのり」効果で、前年比132.04%に。
 *出生数は厚生労働省人口動態統計による。2009年の出生数は2008年より22,000人減となり、推計106万9,000人の見込み。合計特殊出生率は前年と同程度の見込み。

データ2.子どもの月齢（年齢）別相談件数

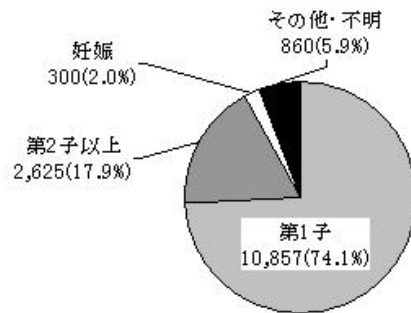
*0～3か月までの低月齢児が43.1%を占める

	妊娠	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳以上	不明	合計
件数	300	2,283	1,923	1,209	895	625	780	658	448	528	465	315	277	1,175	687	1,411	663	14,642
割合(%)	2.0	15.6	13.1	8.3	6.1	4.3	5.3	4.5	3.1	3.6	3.2	2.2	1.9	8.0	4.7	9.6	4.5	100.0

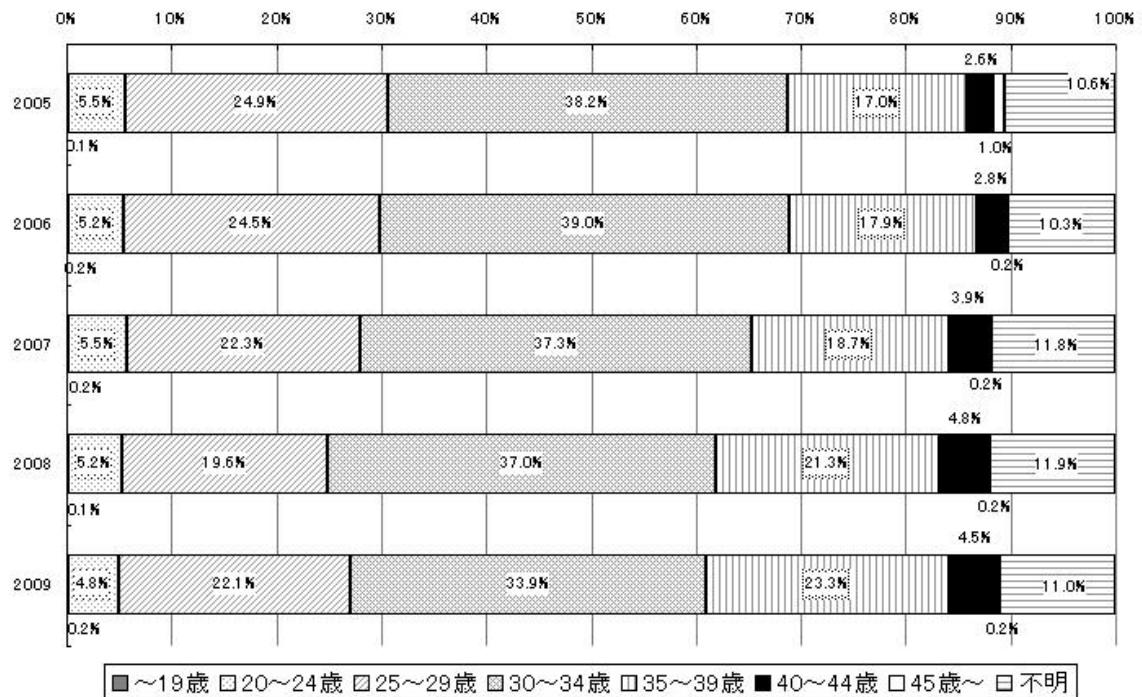
データ2-1.子どもの月齢（年齢）別件数の推移（2005～2009年）



データ3.子どもの属性別相談割合 (N=14,642)



データ4.相談者の年代別利用割合の推移 (2005～2009年)



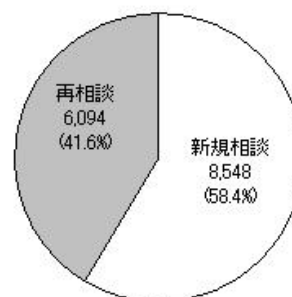
*2006年より、相談者の年代の対象は母親のみ。

データ5.相談者の属性

	件数 (件)	割合 (%)
母親	13,839	94.5
父親	168	1.1
祖父母	230	1.6
その他	408	2.8
合計	14,645	100.0

*父親の占める割合が、2008年より0.4ポイント増。
*祖父母の件数は2008年と横ばいだが、総数が増えたため0.5ポイント減。

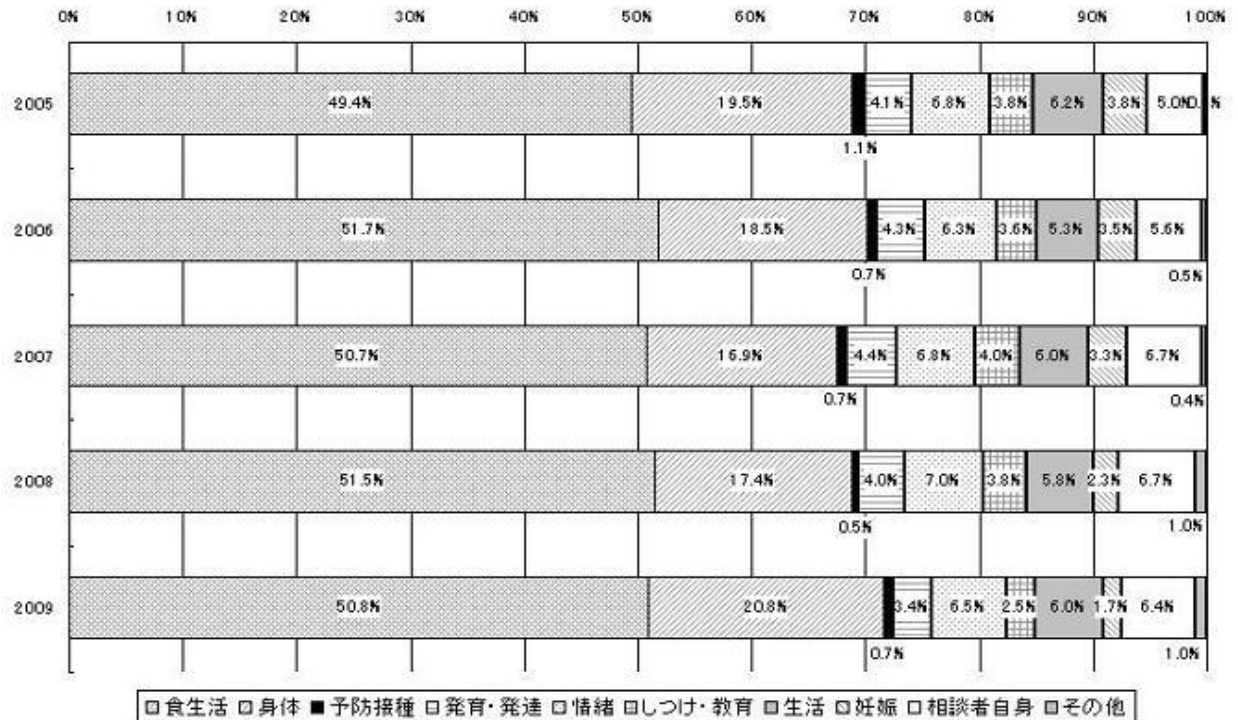
データ6.新規・再相談割合 (N=14,642)



データ7.相談内容別件数

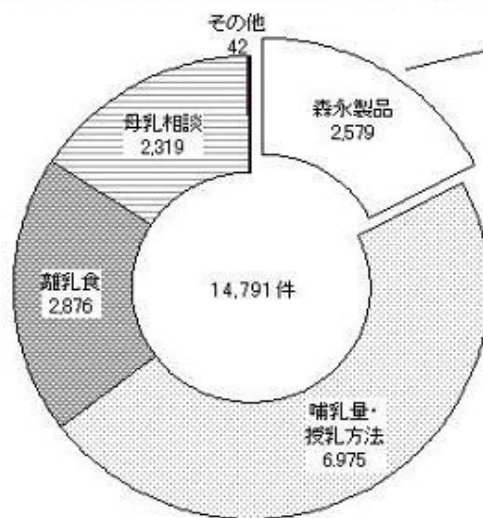
	食生活	身体	予防接種	発育・発達	情緒	しつけ・教育	生活	妊娠	相談者自身	その他	合計
件数	14,791	6,068	205	1,003	1,899	718	1,759	484	1,873	299	29,099
割合	50.8	20.9	0.7	3.4	6.5	2.5	6.0	1.7	6.4	1.0	100.0

データ7-1.5年間の相談内容割合の推移（2005～2009年）



*低月齢の赤ちゃんが増加したため「身体」の相談が増加。

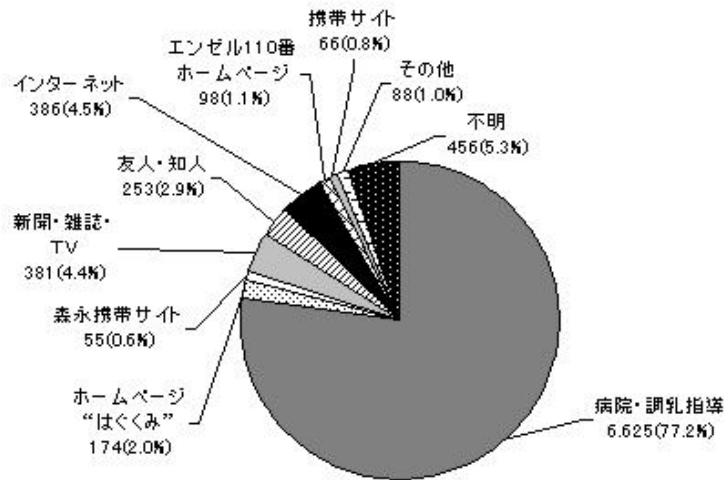
データ7-2.食生活に関する相談内容の割合（2009年）（N=14,791）



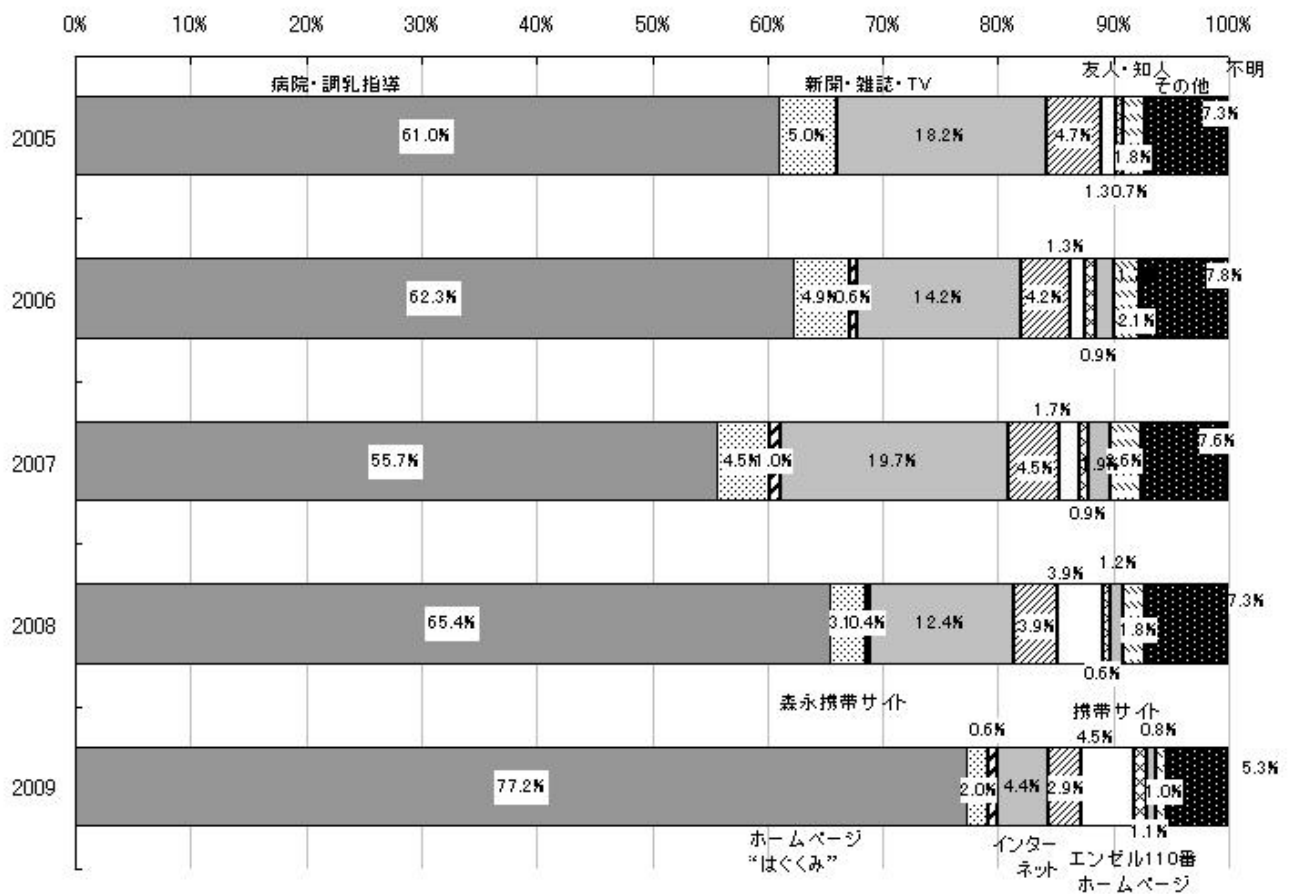
森永商品	2,579 件
・はぐくみ	450
・E赤ちゃん	707
・チルミル	462
・ニューMA-1	58
・MA-mi	52
・ノンラクト	46
・赤ちゃんの水	47
・Eお母さん	20
・ベビー・果汁飲料	34
・シトルタイプ	18
・幼児食	0
・わたしの育児日記	800
・HP、メルマガ	6
・赤ちゃんのビフィズス	2
・その他	77

*「わたしの育児日記」後期の入手方法の問い合わせなどが2008年の2.6倍に。

データ8.新規利用者の認知媒体 (N=8,582複数回答)



データ9.認知媒体別割合の推移 (2005~2009)



*病院調乳指導に「わたしの育児日記」と「しおり」を合わせ、3,743件が含まれ、新規利用者増加に大きく貢献。反面、新聞・雑誌・TVなどのマスコミ媒体が大きく落ち込んだ。

2. 森永商品Q&A

[はぐくみ]

<濃い目のミルクを飲ませると便が出やすい？>

☆月齢 1 ヶ月

Q. 母乳と「はぐくみ」で育てていましたが、私が薬を飲むため今は「はぐくみ」だけを飲ませています。「はぐくみ」はよく飲みますが、その頃から便が1日1回に減ってきました。友人からミルクを少し濃く作って飲ませると便が出やすくなる、と聞きましたが本当ですか？

A. 排便の間隔には個人差があり、新生児期には毎日出ている便も、赤ちゃんによっては1ヵ月を過ぎた頃から間隔があいて、一度にまとめて出すようになることがあります。1日1回の便でも機嫌やミルクの飲みが良く、特に変わった様子がなければ心配ないでしょう。「はぐくみ」は標準調乳濃度（13%）で赤ちゃんに必要な栄養バランスよくとれるように調整されており、浸透圧も母乳と同程度になっています。濃度の濃いミルクを与え続けると、赤ちゃんの体に負担がかかる心配がありますのでおすすめしていません。

<離乳食に使うのは「はぐくみ」と牛乳のどちらがいい？>

☆月齢 6 ヶ月

Q. ミルクがゆやパンがゆを作ってみようと思います。混合でミルクは「はぐくみ」を飲ませています。離乳食にも牛乳よりも「はぐくみ」を使ったほうがいいですか？

A. 「はぐくみ」は母乳に近く、赤ちゃんに適した栄養バランスですので、離乳食にも安心してお使いいただけます。牛乳を離乳食に使ってもかまいませんが、栄養のバランスはミルクのほうがおすすめです。また消化能力や腎臓の働きが未熟な赤ちゃんには、離乳食に使う場合もミルクのほうがより安心でしょう。「はぐくみ」は野菜のミルク煮やミルクゼリーなどのいろいろな料理にご利用になれます。ホームページ『はぐくみ』にも「はぐくみ」を使った離乳食レシピが多数掲載されていますので、ぜひ参考になさってください。

[E赤ちゃん]

<「E赤ちゃん」から他のミルクに切り替える時は医師の許可がいらいますか？>

☆月齢 10 ヶ月

Q. 混合栄養で昼間は母乳、夜は「E赤ちゃん」を飲ませています。最近は離乳食をよく食べていて、ミルクの飲み量が減ってきました。父親に軽いアトピー性皮膚炎があるので「E赤ちゃん」を使ってきましたが、これまで特にアレルギー症状は出ていません。そろそろ「チルミル」に切り替えようと思いますが、友人から「E赤ちゃん」を別のミルクに切り替える場合は医師の許可があると聞きました。医師に相談したほうがよいでしょうか。

- A. 「E赤ちゃん」はすべての牛乳たんぱく質を消化吸収のよいペプチドとし、ミルクのアルゲン性に配慮したミルクです。アレルギーを予防するためのミルクで治療用ミルクとは違いますので、別のミルクに切り替える際、特に医師の指示は必要ありません。満9ヵ月以降、離乳食でヨーグルトなどの乳製品やその他のたんぱく質食品を食べても気になる症状がなければ、森永フォローアップミルク「チルミル」に切り替えてもよいでしょう。
- まずは「チルミル」を少量から与えたり、離乳食に少量お使いになってみるなど、お子さまの様子を見ながら徐々に切り替えていかれると安心です。

< 「E赤ちゃん」を「はぐくみ」に切り替えると今までのアレルギー予防効果はなくなる？ >

☆ 月齢6ヵ月

- Q. 両親とも花粉症なのでこれまで「E赤ちゃん」を飲ませてきましたが、最近ミルクの飲み量が少なくなってきたので、「はぐくみ」に切り替えてみようと思っています。今「はぐくみ」に切り替えると、これまでのアレルギー予防効果はなくなってしまいますか。
- A. 「E赤ちゃん」は母乳に近い「はぐくみ」と栄養は同じですが、すべての牛乳たんぱく質を消化吸収のよいペプチドとし、ミルクアレルギーを作りにくよう配慮したミルクですから、今まで「E赤ちゃん」を飲んでいてアレルギー症状が出ていなかったことは、その予防効果によるものかもしれません。別のミルクを飲ませることによりアレルギー症状が出る可能性がないわけではありませんが、低月齢のときに比べ消化器官も成熟してきますから、成長とともにその可能性は低くなっていると思います。離乳食でヨーグルトなどの乳製品やその他のたんぱく質食品を食べても気になる症状がなければ、「はぐくみ」に切り替えるタイミングとしておすすめです。その際は「はぐくみ」を小さじ1さじ程度の少量から与え、様子をみながら徐々に切り替えると安心です。

[チルミル]

< 「チルミル」の調乳温度は？ >

☆ 月齢10ヵ月

- Q. これまで「はぐくみ」は80℃設定のポットのお湯で調乳していました。「チルミル」も80℃のお湯で調乳してもいいですか？溶けにくいということはありませんか？
- A. 「チルミル」はお湯でも水でもサッと溶け、お子さまを待たせることなく簡単に作ることができます。お湯が80℃の場合は、湯冷ましを足して50℃くらいに冷ましてから作るとよいでしょう。トレーニングカップなど哺乳瓶以外で飲ませる時も、適温のお湯で作ったほうが冷ます手間がなく便利です。また「チルミル」はお子さまの飲み具合や季節に合わせて水での飲用もお試してください。森永「やさしい赤ちゃんの水」ならミネラルや不純物を含まない純水ですから、煮沸をしなくても「チルミル」の調乳には安心してお使いいただけます。

<「チルミル」には卵の成分が入っていますか？>

☆ 月齢9ヵ月

Q. 7ヵ月の時にアレルギーの検査をして、卵にアレルギーがあることがわかりました。ミルクは他社ミルクから「はぐくみ」に替えたところ、顔の湿疹がよくなりました。9ヵ月になったので「はぐくみ」から「チルミル」に切り替えようと思いますが、「チルミル」には卵の成分は入っていますか？切り替えても大丈夫ですか？

A. 「チルミル」には卵の成分は入っていません。医師からミルクについての指示が特になければ、満9ヵ月以降「はぐくみ」から「チルミル」に切り替えても問題はないと思います。もしご心配でしたら「はぐくみ」を1歳くらいまでお使いになり、その後「チルミル」に切り替えてもよいでしょう。「はぐくみ」から「チルミル」に切り替える時は、まずは1日の中で1回分のミルクを「チルミル」に替えてみたり、離乳食で「チルミル」を使ってみたりして、少しずつ切り替えいくとより安心でしょう。

[MA-mi]

<「MA-m i」の味はどんな？>

☆月齢6ヵ月

Q. 母親が牛乳を飲んで授乳すると血便が出ることもあり、検査をしたらミルクアレルギーとわかりました。医師からミルクを飲ませるなら「MA-m i」と言われたのですが、アレルギー用ミルクは味が飲みにくいと聞いたことがあります。もう離乳食も食べ始めているので、味がよくないと飲まないのではないかと心配です。

A. 「MA-m i」は従来のミルクアレルギー用のミルクよりも溶けがよく、飲みやすい風味になっていますので、ぜひお試しください。「MA-m i」はたんぱく質を高度に酵素消化しアレルギー性を著しく低減した、医師の指示によりお使いいただくミルクアレルギー用のミルクです。良質の乳たんぱく質消化物を母乳と同じ比率で配合することにより、アミノ酸組成を母乳に近づけて、栄養バランスを改善しています。また、卵や大豆、魚成分を含まないよう十分に配慮していますので、これらのアレルギーを持つお子さまにも安心してお使いいただけます。

[ノンラクト]

<下痢で「ノンラクト」にしていたのですが、今までのミルクにどのように戻したらよいですか？>

☆月齢8ヵ月

Q. 3日前から下痢で、1日15回も排便がありました。かかりつけ医から乳糖不耐症と診断され、「ノンラクト」を飲ませ始めたところ、昨日は6回、今日は2回の排便に治まってきました。これからどのように今まで飲んでいた「はぐくみ」に戻したらよいですか？

A. 「ノンラクト」は風邪などによる一過性の下痢や乳糖不耐症などの赤ちゃんに、医師の指示のもとにお使いいただくミルクです。下痢が回復し「はぐくみ」に戻す場合も、医師の指示に従って

戻しましょう。

<全母乳でも、下痢が続いている場合は「ノンラクト」にするとよくなりますか？>

☆月齢 7 ヶ月

Q. 母乳だけで育ててきましたが下痢が続き、病院を受診しました。乳糖不耐症と診断されましたが、母乳は続けて大丈夫と言われました。ところが2週間してもよくなりませんので、母乳をやめて別のミルクにしたら下痢が治まりました。でも母乳を再開するとまた悪化します。友人から「ノンラクト」というミルクがあると聞いたのですが、母乳の代わりに与えてもよいですか？

A. 「ノンラクト」は風邪などによる一過性の下痢や乳糖不耐症などの赤ちゃんにお使いいただくミルクです。母乳や「はぐくみ」などの一般の育児用ミルクと違い、乳糖が含まれていませんが、母乳（特に初乳）に多く含まれるラクトフェリン、下痢の時に欠乏しやすいビタミンKなど赤ちゃんの成長に欠かせない栄養成分がバランスよく配合されています。ご使用の際には医師の指示が必要となりますので、下痢が治らないようなら再度受診してご相談になってみてください。

[ベビーフード]

<7 ヶ月ですが9 ヶ月用のベビーフードを使ってもいい？>

☆月齢 7 ヶ月

Q. 現在2回食です。やわらかいものより、固めに作った離乳食を好みます。ベビーフードも7 ヶ月頃からのものでなく、9 ヶ月頃からのものを食べさせてもいいですか？

A. 「森永ベビーフード」は月齢に応じて工夫した商品を取り揃えています。7 ヶ月頃からのお子さまには舌でつぶせる固さと大きさを基本にし、ごはんや麺のメニューを品揃えしています。離乳食の進み具合には個人差がありますし、赤ちゃんによって固さの好みもあるでしょう。ただ、月齢に合っていない固さの離乳食は赤ちゃんが丸飲みをする原因にもなります。また9 ヶ月頃からのベビーフードには、7 ヶ月の赤ちゃんがまだ慣れていない食材を使っている場合もあります。7 ヶ月の赤ちゃんには『7 ヶ月頃から』の「森永ベビーフード」をお使いになることをおすすめします。1回の離乳食の中で固めのものとやわらかいものを組み合わせたり、7 ヶ月頃からのベビーフードの中に少し大きくて固めの食材を混ぜてみたりしながら、少しずつ進めていくとよいでしょう。

[ベビー飲料]

<母乳、ミルク以外にイオン飲料は必要？>

☆月齢 3 ヶ月

Q. 混合で飲みは良く、体重の増えも順調です。パンフレットでイオン飲料のを見たのですが、母乳やミルク以外にも水分補給のためにイオン飲料を飲ませたほうがよいですか？

- A. 赤ちゃんの身体の約70%は水分で、汗やおしっこなどから体重1kg当たり大人の約3倍の水分が失われるため、水分補給は欠かせません。健康な赤ちゃんは普段母乳やミルクを十分に飲んでいれば水分が不足する心配はありませんが、通常の水分補給に「森永ベビー飲料イオン飲料」をお使いになる場合は、入浴や散歩の後など、汗を多くかいた時に飲ませてあげるとよいでしょう。授乳の妨げにならないよう、1日100mlくらいまでを目安にして授乳と授乳の間に飲ませましょう。また下痢や発熱の時にはいつも以上に水分と一緒に電解質（イオン）が失われます。「森永ベビー飲料イオン飲料」は低浸透圧タイプで、水分や電解質の体内への吸収がよりスムーズです。下痢や発熱時には特におすすめです。